

日 時：平成 27 年 07 月 11 日（土）午後 14 時 00 分開会 午後 17 時 00 分閉会

場 所：阿倍野スポーツセンター 会議室

出席者：【会長】茂野直久

【副会長】井上晴雄・木村京守・藤川義人

【局長】（事務）横谷茂雄・（事業）上田武司・（競技）中村安治
（地域統括）山本隆造

【部長】（総務）山本一秀・（渉外）井尻丈士・（企画・開発）高田秀信
（技術）川端幹夫・（広報）肥田玄三・（財務）北村清明
（指導）雑古哲夫・（国際）岩尾 勤・（経理）篠崎 正
（事業第一）内田義春・（事業第二）竹中洋一・（事業第三）松本良朗

【競技連盟部長】（社会人連盟部長代理）田中徳治・（学生連盟部長代理）丹下敏幸・（高校連盟）橋岡典昭
（少年連盟）小泉賢一郎・（実業団連盟）内田義春

【府県連盟部長】（大阪府）山尾英一・（奈良）撫養義朗・（京都）中栄一誠・（兵庫）桐田 清

【昇段級審議会副議長】深山陽生

【団長補佐】中本義信

【監査】井藤晴久 佐藤賢治

【書記】（総務次長）服部哲也（総務委員）西村尚雄

内規に基づき部長会の成立の旨、総務部長より報告。

内規に基づき茂野会長が議長となり議事進行。

○議題

1. 援助金について

- ・事務局より再度、援助金改定案作成資料について説明があり、幹部役員会にて大会規模、歴史実績を考慮し 9 月の部長会にて援助金の詳細を説明するとの報告があった。
- ・会長より大会運営費、大会参加人数に対しても考慮するようにと指示があった。
- ・事務局より大会終了後、大会運営の決算報告を事務局に提出するように説明があった。
- ・小規模な大会についての奨励金については幹部役員会にて決定する事が報告された。

2. 防具について

- ・国際部長より防具を低価格化とする事業計画と、顧問弁護士と相談し日本拳法防具を公認化する事業計画について検討中との説明があった。
- ・国際部長より世界の日本拳法の現状について説明があり今年の 5 月 10 日に行われたローマ大会ではロシアが日本拳法に関与していない人間が国際大会前に次期大会について会議を開催したとの報告があった。
- ・会長より国際的に遅れをとらないために危機感をもって国際部だけではなく各役員、各大学OBの方々の専門知識をもって取り組んでいくように指示があった。

3. 少年級検討委員会より報告

- ・少年連盟部長より少年級検討委員会会議での少年級認定の下記の途中経過の報告があった。
 1. 少年級の級位について
 2. 認定状費用について
 3. 認定基準について
 4. 少年級登録について
 5. 年齢制限について
- ・（付随事項）少年連盟部長より小学校高学年より股当ての防具装着について検討中との報告があった。

4. 人口増加委員会より報告

- ・井上副会長より昨年度より行っているアンケート調査について現在、回収が終了し内容を集約するとの報告があった。
- ・部長会にてリフレット作成の決済について初期段階として 5,000 部およそ 120,000 円で決議された。

5. 不祥事発生防止について
 - ・各競技連盟部長より不祥事発生防止策についての説明があった。
 - ・会長より懲罰規定を作成し外部の委員を含めての懲罰委員会の設置を事務局に指示があった。
6. 経費申請について
 - ・総務部長より再度、活動実績報告書（内容、収支）、出金（精算）伝票の用紙についての説明があった。
 - ・総務部長より公益法人活動報告書の複写用紙印刷についての説明があり部長会にて決済、決議された。
7. メールアドレスについて
 - ・広報部長より事務局のメールアドレスについての説明があり、変更次第、報告するとの説明があった。
8. 会費制について
 - ・会長より、企画部においてプロジェクトチームを発足させ将来的に会費制度を検討していくとの説明があった。

○全国連盟からの報告

1. 日体協加盟について
2. 総合選手権の大会名称変更の件について
3. 都道府県対抗大会について

閉 会

以上 （書記 服部哲也、西村尚雄）

平成27年 7月11日